

管理番号

71

研究内容の説明文

献血者説明用課題名 (括弧内は公募申請課題名)	がんとマクロファージの関係性に関する研究 Research on the role of macrophages in cancer (腫瘍微小環境におけるマクロファージの糖鎖シグナルと免疫 制御機構の解明)
研究開発期間 (西暦)	2025 年 9 月～2035 年 12 月 31 日
研究機関名	名古屋大学医学部附属病院 救急科
研究責任者職氏名	病院助教 船橋 嘉夫

研究の説明

1 研究の目的・意義・予測される研究の成果等

私たちの体には、細菌やウイルス、がん細胞などから体を守る「免疫（めんえき）」の仕組みがあります。その中でも「マクロファージ」と呼ばれる細胞はがんや微生物との戦いにおいて重要な役割を担っています。本研究では、健康な方の血液からマクロファージを取り出し、がん細胞との関係を調べることで、がんの周りの環境（腫瘍微小環境）で免疫がどのように働いているのかを明らかにすることを目指しています。

2 使用する献血血液の種類・情報の項目

献血血液の種類：白血球除去工程後のフィルター
献血血液の情報：なし

3 共同研究機関及び研究責任者氏名

《献血血液を使用する共同研究機関》
名古屋大学 東海国立大学機構 糖鎖生命コア研究所 (iGCORE)
糖鎖ビッグデータセンター部門 (共同責任者：特任助教：Priya Dipta)
《献血血液を使用しない共同研究機関》
なし

4 献血血液の利用を開始する予定日

2026 年 6 月 1 日

5 研究方法《献血血液の具体的な使用目的・使用方法含む》

献血血液のヒト遺伝子解析：■行いません。 □行います。

《研究方法》

血液除去後工程後のフィルター内の血液から免疫細胞（単球）を取り出し、約 10 日間培養してマクロファージに育てます。育てたマクロファージを使い、細胞表面の糖鎖や受容体の違いを調べます。さらに、細胞が出す物質（サイトカイン）やがん細胞への影響も評価します。実験はすべて研究室内で行い、結果は統計的に解析します。供与いただいた血液検体のサンプル調整、培養、フローサイトメトリー等の実験について主に名古屋大学救急科が担い、得られたデータの解析については共同研究先である糖鎖生命コア研究所 (iGCORE) 糖鎖ビッグデータセンター部門が担

うことを予定しております。

6 献血血液の使用への同意の撤回について
研究に使用される前で、個人の特定ができる状態であれば同意の撤回が出来ます。

7 上記 6 を受け付ける方法
「献血の同意説明書」の添付資料の記載にしたがって連絡をお願いします。

受付番号

R080015

本研究に関する問い合わせ先

所属	名古屋大学医学部附属病院 救急科
担当者	船橋 嘉夫
電話	電話：(052) 744-2659 FAX：(052) 744-2785)
Mail	mvp_yoshio610@yahoo.co.jp